



## 自己判断で急にやめないで相談する

### ◆急にやめると怖い薬がある

ポリファーマシーを避けるには「多過ぎる薬は減らす」ことが何よりも大事になります。ただし、減薬＝薬を一切やめていいということではありません。

薬の処方には目的があります。また急にやめることで、かえって危険な薬というものもあります。

薬を急にやめたことよって、それまで抑えられていた症状がかえって悪化する場合があります、これをリバウンド現象と言います。

たとえばベンゾジアゼピン系の睡眠薬や抗不安薬、抗うつ薬は、いきなり服用を中断してしまうことで、体内に薬があるのが当たり前だった状態がそうではなく、離脱症状が起きやすくなります。しかも徐々に調子が悪くなるのではなく、急激に症状が悪化するケースが少なくありません。

同様に降圧剤のβ遮断薬も、急にやめると狭心症の悪化、不整脈の誘発、血圧の上昇などのリバウンド現象を生じるとされています。

また副腎皮質ステロイドも、体外から強力な副腎皮質ホルモン（ステロイド）を投与することで、もともと副腎でつくられていたステロイドの量が以前よりも減少しています。この状態で薬を急にやめると、炎症を抑えるものがなくなり、ひどい炎症が再発することがあります。

このような離脱症状やリバウンド現象を起こす薬をやめるときは、慎重に、少しずつ減らしていく必要があるのです、必ず医師や薬剤師に相談してください。

### 徐々に減量すべき薬剤

